

季節の花 マム(菊)
花言葉 ~高潔、高貴~



おかやま民医連

発行
岡山県民主医療機関連合会
岡山市北区下伊福西町1-53
岡山県民会館3F
TEL (086) 214-3911
2022年1月号 No.354
URL: <http://www.okayama-min-iren.org>

謹賀新年



岡山県民主医療機関連合会
会長 藤田 文博

昨秋、第49回衆議院総選挙がありました。投票率は55.93%と戦後3番目の低さだそうです。あらゆる立場や分野の方々が「選挙へ行こう」と呼びかけたにもかかわらず、残念な数字でした。それだけ国民は政治に期待を持っていない証拠でもあります。自分の意思を示さない態度こそ現政権の思うままの政治が続くことにつながります。

民医連では、いのちが最優先される社会への転換を求めて「2021年総選挙にあたっての全日本民医連の要求」をまとめました。新型コロナウイルス感染症をめぐる緊急要求、医療・介護体制の拡充を求め、公正な税制と憲法を守り平和で安全な社会をめざす国への転換を求めています。選挙は終わりましたが、国や自治体への要望につながる中身ですので引き続き声をあげていきましょう。

特に、このコロナ感染で保健所や病床の不足が医療崩壊を招いたことが明らかになったにもかかわらず、病床削減を前提とする地域医療構想、公立・公的病院の再編統廃合は見直す態度をとっていません。岡山県民医連の各事業所でもコロナ病棟を立ち上げ感染症医療の一翼を担い、クラスター感染を最小限に抑えるべく、職員の力を結集してコロナ対応に取り組んできました。

「第6波」の感染拡大に備えて、3回目のコロナワクチン接種を速やかに希望する国民に幅広く行うこと、またPCR検査を無症状者も含めて必要な人が無料で受けることができるよう体制を強化すべきです。岡山県民医連でも、PCR検査の拡充を再三にわたり県に要請してきました。医療従事者や介護従事者がいつでもPCR検査できるようにすることは感染拡大を防止する第一歩と考えています。

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中ですが、力を合わせてこの難局を乗り越えていきましょう。今年もよろしくお祈りします。

新年の抱負



いぬい れつ
成亥 烈
(コープリハビリテーション病院・看護師)

らえるような働きをしたいと思っています。

そのためには丁寧な、出来ることを視野広くしてやっていきたい。また自分自身が行うことを「自信」持つて行えるよう、日々学習を続けていきたい。そのような事を行なっていく事によって患者さんからも「信用」してもらえ、頼ってもらえるようになると思います。そういった看護師をこれからも目指していきたいと思っています。

3つの目標「信頼」「自信」「信用」の中に入っている「信」が、今年の抱負の漢字1文字です。



えぐち かなこ
江口 佳菜子
(岡山中央福祉会本部・事務)

分はまだまだ知識や経験上至らないことが多いと感じています。自ら質問し、動くことで解消していきたいです。また岡山中央福祉会には素晴らしい思いをもって働いている職員がたくさんいます。もっと色々なツールを使って紹介していけたら、と思っています。

2022年はこれまでの踏襲にばかりならないよう新しい試みを取り入れ、変化し「動」けるようにしたいです。そして何事にも「動」じない心でいられるよう、常に学び、実践する姿勢を忘れないようにしたいと考えています。現状に満足することなく、動き変化することを意識していけるよう、この漢字を選びました。



新年の抱負



駒松 春樹 (虹の薬局本店・薬剤師)

私は昨年4月から、今の職場で働き始めました。大学で学んだことが表面的なことだけで、実際に現場に

行くと自分に足りないことがあまりにも多いことに気が付かされました。コロナウイルス感染症が流行しており、とても不安になる状況でもありました。仕事にまだ不慣れで分からないことが多い中、職場の先輩方が私を助け、支えてくれました。そのおかげで出来ることも増え、何とか仕事を続けることが出来ています。最近では訪問薬剤管理指導にもかかわるようになり、患者さんの生活により近い目線で薬を扱うことが増えました。これからは今まで支えてもらった分、患者さんにとってほんの少しでも支えになれるような薬剤師を目指します。



佐藤 杏奈 (林道倫精神科神経科病院・看護師)

私はケアミックスの内科病棟に勤務している時に、精神疾患を持つ患者様と接する機会があり、精神科看護

という分野に興味を持ち林病院へ入職しました。振り返ると、入職後の一年は変化の年でした。多くの患者様と接することで価値観や看護観が変化し、身体疾患とは異なり典型的な症状が表面化しにくいため観察の視点を変えることの大切さを実感しました。新年度に向け私は「進」という漢字を選択しました。この1年で変わった自分の価値観や看護観を日々の仕事に還元できるように進化させること、患者様に寄り添った看護が実現できるように知識をアップデートしていくことを目標に、今年も進んでいきたいです。



土肥 悠暉 (水島協同病院・初期研修医)

私の2022年の漢字は「駆」です。2022年の抱負について考えたとき、2021年は自分にとって

どんな1年だったのだろうかと考えました。入職するまでは、自分は医師として働いていけるのか、そもそも社会人としてやっていけるのか、と不安に思っていました。しかしそんな心配は無用でした。新しい環境での生活は、毎日が刺激的で働くのが楽しくて仕方ありませんでした。もちろん、力が及ばなかったこともありましたが、そこから学び成長することもできたと思っています。この1年は本当にあつという間に感じられました。2022年も2021年に感じたこの気持ちを忘れることなく駆け抜けていきたい、そんな思いを込めて2022年の漢字を「駆」としました。



野村 紀彰 (健生園デイサービスセンター・介護職)

入社して2年目に入り、通所へ異動しました。この半年を振り返ると、ご利用者様や職場の仲間にもまだまだ

気遣いが足らなかつたと思います。上司や先輩から言われるまで気が付きませんでした。自分では考えているつもりでしたが、それは自分の思いであり相手の思いを考えていなかつた事に気づきました。抱負にあげた「心」とは、身体に対しての知識はもちろんのこと、感情や意志など精神的な動きの基になるものと考えます。自分の「心」の弱さを見つめ直し、相手に対する思いやりを持って独りよがりにならないようにしたいと思います。そのために相手の話をよく聞き、人それぞれの考え方を受け入れて自分も成長できよう頑張りたいと思います。



宮崎 諒也 (岡山協立病院・理学療法士)

私は新年の抱負の漢字「成」字を成長の「成」にしました。就職してはや1年が経とうとしています。入職当

初は学生と社会人のギャップが大きく、早く仕事に慣れるように必死でした。また、仕事内容でも覚えることが多く、1人で出来ないことはばかりで先輩職員に手取り足取り指導していただく日々でした。今では少しずつではありますが、仕事にも慣れてきて1人で出来ることも増えてきました。しかし、まだまだ出来ないことばかりです。新年は、目標を達成出来るよう先輩職員の良い所を学び吸収して、今まで出来なかつたことを1つ1つクリアしていき、周りから成長したなと思われるよう、また自分自身も成長したと実感出来るよう頑張ります。



山西 幸穂 (岡山協立病院・初期研修医)

岡山協立病院に入職し、約9か月が経ちました。最初は今まで勉強してきたことと実臨床でのギャッ

プに追いつけない日々が続きましたが、様々な経験を通して徐々に自分にできることや知識が少しずつではあるものの増えてきたと思っています。しかし、まだまだ勉強不足だと感じる場面もあります。2022年も変わらず日々の経験や学習を大切にし、自己研鑽のみならず最善・最適な医療に生かしていきたいと思っています。また体力をつけるためにも何か簡単な運動をはじめようかな、と思っています。おすすめの運動があれば教えてください。

ペシャワール会会長村上優先生の講演は本当にすばらしく、多くの民医連職員に聞いて欲しいと思いました。眞鍋先生はコロナ禍でもエネルギーで興味関心が尽きることがない、私もこうありたいと思いました。星 昌子 (林病院)

ザッハトルテの元祖が、ホテルザッハーだということにびっくりです。学術運動交流集会は、写真からリモートでもつながりがある雰囲気が伝わってきて良かったです。Y・S (平福診療所)

10月号
読者カードより